

1、学習支援教室運営事業について

学習支援教室 1116 万円の予算は、28 年度予算に組み込まれた学習支援検討委員会未執行で決定された。学習支援など子どもの学力向上についての考え方の再検討を求める。

(1) 現状の進捗を聞く

(2) 所得格差と学力の関連性は、学者の調査で実証されている。学力は知識の蓄積や思考の訓練でも向上するが、

人との関係力をつくること、共感力を育てることも教育として重要である。29 年度予算の学校外の機関へ学力の補充を委任する政策の実施は、本年度は保留し、学校・保護者・子ども・地域の人と子どもの教育について今必要とされているサポーターについて協議し合意が得られた施策を次年度で実施することを求める

2、小中学校教員の超過勤務について

(1) 嵐山町小中学校教員の超過勤務・家での持ち帰り仕事の把握を聞く

(2) 中学の部活動指導者の早朝勤務・休日勤務の現況を聞く

(3) 長時間労働による過労死・疾病への対策を聞く

3、災害予防の都市計画について

嵐山町では災害に対して防災計画がある。防災は避難・情報発信が課題で施策が展開されている。都市計画上の予防として河川・道路の課題解決も重要である。

(1) 県の管理する国道・県道のうちの幅員 狭い区間・歩道について 防災の視点で災害防止の視点での見直しが必要である。方向をきく。なお町内にある道路のうち、嵐山町管理の道路と埼玉県管理の道路の比率を聞く。埼玉県管理道路のうち改修が必要である道路の延長割合・町管理道路との比率は。

(2) 町内の災害を予防する計画として 2 項道路についての調査が必要だが把握を聞く

(3) 非積極的ではあるが、隣接する世帯の家改修時には幅員 4 M が確保できる災害対応の都市計画の予定図面が必要である。住民を交えて話し合うべきだが方向性を聞く

4、埼玉中部資源循環組合について

(1) 環境影響調査計画書について知事意見は「隣接する中部環境保全センターの影響を無視できないものとして指摘している。影響評価計画に対しての意見に基づく見直しをせず、5 月 19 日環境影響評価業務委託事業の入札を行い、予定価格 1 億 8072 万 9 千円を、5508 万円で落札した。環境影響評価は、知事意見書を反映できる内容が実施しできると考えるか聞く。又、実施するための体制を聞く。

(2) 収集運搬についての小川地区衛生組合管内の協議状況を聞く

5、池ノ入環境センターについて

(1) 池ノ入環境センターは、老朽化しているため延命化工事を進めるということである。具体的にはどのようなことを進めていくのか聞く。

(2) 埼玉中部資源循環組合では、小川地区衛生組合管内市町村においても生ごみ・剪定枝を含めすべて焼却処分を行う予定である。が、老朽化した池ノ入環境センターは、資源循環型施設として生ごみ・し尿・浄化槽汚泥等によるバイオガスエネルギーの施設として新築することも可能である。し尿処理による新しい事業を実施している自治体もある。可能性調査の検討を。

6、2018年介護保険改正に向けて

1) 2018年介護保険改正に向けて、嵐山町の課題は

(2) 軽度の人への支援は介護保険で認定される利用量が少なくなり、辛い思いをしている人がいるが、今後の対応は